## 1 1 tak 森下モニター【淀川】

5月 モニターレポート		担当出張所	高槻出張所
担当区間	淀川中流右岸		
	三島江河川公園~檜尾川合流点(右岸23.0km~28.2km)		
モニター実施日時	令和2年5月13日(水)14時~16時		
天 候	晴		

## (見出し)

- ・大塚河川敷公園から檜尾川をのぼり演習橋間をモニターし、動植物の様子を報告します。
- ・茂みの中にできた道について報告します。

## 5月13日(水)

・いつものモニターセット(カメラ、水、双眼鏡、メモ)を持って自転車で出発。淀川右岸堤防から大塚河川 公園を見下ろすといたるところに薄紫色の大きな塊が見られた。近づいてみると花が茂って咲いていた。





アップすると



」 全景



群生する野バラ

11月、この辺りはが野バラの赤い実がいっぱいだった。

今は一面に白い花が咲きほのかに甘い香 りが漂っている。

ナヨクサフジと同様にあちこちに群生して咲いている。

・姿は見えなかったが、この辺りから ツツピー、ツツピーと囀るシジュウカラの 愛らしい特徴のある鳴き声がよく聞こえ た。

・公園の芝はきれいに短く刈られて整備されている。



小学生がサッカーをしている。

野球、散歩、ジョギング、ボードなどたくさんの人が 利用している。緊急事態宣言で、学校や会社が休みに なっているので、親子連れも多い。

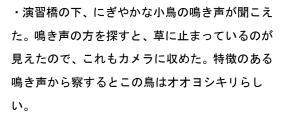


・公園を後にして檜尾川へ向かい、川上に向かう。水は どこを流れているかわからないぐらい少ない。 両側を覆っていた菜の花は種をつけている。





・ブロックの上をハトが歩いていた。かわいい姿を写真に撮ろうとしていたら、なんと茂みの中からイタチが出てきた。あっという間に通り過ぎていったが、偶然カメラに収められた。





・檜尾川から再び大塚河川敷公園へ戻り、川面に続く茂みに行く。3月も報告したが、もともと獣道のように 細かったところが、さらにしっかり太くなっている。新型コロナ感染症で学校が休校になり、緊急事態宣言が 出るなど人の動きが変わってきている。河川公園を利用する人は大幅に増え、皆さんが通るのだろう川面に続 く道はさらに太くなっている。

事故防止のためにさらなる巡回をお願いしたい。









・ワンドの工事が終わり立ち入り禁止のロープが張ってある。にも拘わらず奥に魚釣りらしい人影が見えた。危険が伴うのでこちらも事故防止のための巡回を増やしてほしい。

- ・ナヨクサフジや野バラが咲き河川敷は花で覆われてきれいだった。春から初夏の景色になっている。河川愛護モニターになってから花や鳥の名前がわかるようになった。なんとなく見ていた景色が興味関心を持って見えるようになり、楽しみが増えた。今回はイタチにも出会って感動した。
- ・緊急事態宣言が出て公共施設等が閉鎖されているので、沢山の人が公園を利用している。利用者の増加とと もにワンドへの立ち入りなどが増えている。事故が起きないよう注意喚起や啓発をお願いしたい。

## (意見・感想・処置等)

5月のモニターレポートありがとうございました。

ナヨクサフジの紫が色鮮やかでとても綺麗ですね。また野バラも小さい白い花が可愛らしいです。群生だと一際 目立つので思わず立ち止まってしばらく見ていたい気持ちになります。

イタチの写真が少し遠いですが、尾の長さが胴体の長さの半分位なので、ニホンイタチかもしれませんね。逆に

尾の長さが胴体の長さの半分より長ければチョウセンイタチです。 また、体の色もニホンイタチは茶褐色なのに対し、チョウセンイタチはやや淡い褐色をしています。

夜行性のイタチは、昼間は寝静まっているので遭遇するのは難しく、また動きがすばやいので一瞬の出来事だったのではないでしょうか。写真に収めていただきありがとうございました。

注意看板については、激しい川の流れや浸食よって河岸が削られている場所や、河川構造物、河川管理施設などに、危険な場所を発見した時は、注意看板を設置したり、禁止ロープを張ります。またそのような場所での利用者がいれば、巡回パトロールで見つけ次第、注意喚起をおこなっています。ご指摘いただいた場所は河川の地形によるものであり、「あぶない!この先落ちる」という注意看板を設置することで、危険な場所である事をお知らせするに留めております。ただそのような場所で子供達だけで遊んでいるようであれば、事故が起きるリスクが上がりますし、心配ですよね。その時は巡回パトロールでお声を掛けさせていただいております。ご報告ありがとうございました。

では来月のレポートも宜しくお願いします。